

これからの日本と栃木県を考える
- オバマ政権の外交政策と大不況下の栃木県 -

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

2. オバマ政権の外交政策

(1)今週は、オバマ大統領がアメリカの新しい大統領になりました。皆様はどのようにお考えになられたでしょうか。黒人の方が初めて大統領になったということで、アメリカもずいぶん変わるのではないかと思います。

(2)私が感心しましたのは、ヒラリー・クリントンさん、大統領の予備選挙であそこまで激しく政策を競い合った方、時にはお互い非難し合った方を日本の外務大臣に相当する国務長官に迎えて、アメリカの国難といえますか世界の難局を乗り切ろうとしていることです。広い心で大統領の任務を果たそうとしている姿に、非常に感服しました。

(3)オバマ大統領は、今後新しい政策をたくさん出すと思います。それらは、これまでのようにアメリカが世界のすべての覇権を握るのではなく、国際的に協調していこうという考えのもとに行われると思います。

(4)ヒラリー・クリントンさんが「アメリカはこれからスマート・パワーで行こう。権力のためにはハード・パワー（軍備）を大事にすることも重要であるが、マグネット（磁石）のように引き付けるソフトパワーでいろいろなものをアメリカに引き付けながらやっていきたい。その中心となるのは、スマート・パワーつまり知性などでこれからのアメリカを回していくことだ。」と言っています。

(5)その通りだと思いますし、それはそれで素晴らしい考えだと思いますが、では、このあと日本との関係はどうなるのでしょうか。まだ明確にはされていませんが、おそらく日米安保条約や集団的自衛権は堅持すると思います。一方で、沖縄をはじめ日本にたくさんあるアメリカの基地は少しずつ撤退するのではないかと思います。そうなったときに、核兵器を保持している中国や北朝鮮、ロシアなどには日本はどのように対処するのか、日本の防衛をどうするのかという新たなテーマが出てくると思います。これからはアメリカが国際協調主義で一極支配から少しずつ引

き揚げていきますので、アメリカ軍も日本から少しずつ撤退する可能性が高くなります。そのときに日本の防衛をどのようにするのか、核兵器を持っている中国や北朝鮮、ロシアにどのような態度を取っていくのかということが大事になると思います。

(6)しかし、だからといって日本も核兵器を持ったほうがよいということではありません。核兵器を持たずにどのようにして日本を防衛するのか、アメリカや中国、北朝鮮、ロシアとどのように協調関係を築いていくのかということも考えなくてはならないということです。

もしかしたら、これは日本にとってよいチャンスかもしれません。どのように日本という国を考えるのか、日本の国防を考えるのか、これらのことをみんなで少しずつ考えながらよい国をつくっていったらよいのではないかと思うからです。

(7)オバマ大統領は、このような意味でも日本によい影響を与えるのではないかと思います。私は、黒人の方が大統領になることには大賛成です。そして、これまでの政敵であったヒラリー・クリントンさんを日本の外務大臣に当たる国防長官として迎えたことは素晴らしいことだと思います。まず、それをお話させていただきました。

3. 大不況下の栃木県

(1)次に、今の不況でどのように過ごしたらよいかを皆様といっしょに考えてみたいと思います。選ばなければ、仕事はまだあると思います。ただ、新しい仕事に就くということには多くの困難が伴います。今までの仕事がなかなか大変であった場合には、新しい仕事にどのように就くかをまず自分自身に納得させなければなりません。そのためには、新聞を毎日読んで世の中がどのようなになっているのかを知った上で、今までの状況ではなかなか生活できないということをも自分自身で認識することも大事ではないかと思います。

(2)では、どのようなことを行ったらよいのでしょうか。これまでの輸出主導型の企業は、製品を作ることが大変になります。ですから、これからは国内サービスに注目して、国内の需要をもっとも喚起するようなもの、国内に必要なものを提供することが大事であると思います。

私は温泉が好きで毎週のように日帰り温泉に出掛けていますが、温泉を中心とした観光も素晴らしいと思います。外国の方々に訪れていただくのもよいですが、国内の方々に来ていただけるような素晴らしい観光地にすることも大事であると思います。また、どのようにしたら、栃木県の観光を盛況にできるかを考えることも大事であると思います。

(3)それから、栃木県の面積の何分の一かは森林です。にもかかわらず、そこで働く人があまりにも少ないために、草などが生い茂っています。せっかくの森林が壊滅状態になりつつあるのです。ですから、森林をどのように保護するか、そのためにどのような協力ができるかを考えることは、新しい仕事・活動領域を広げる上で素晴らしいと思います。

(4)また、介護や福祉は非常に大切な仕事ですので、これらも新しい仕事・活動領域として考えていくとよいと思います。

(5)不況で大変だと言われていますが、このように国内には仕事がたくさんあります。日本は豊かな国ですので、需要もあります。大変だ大変だと言っているだけでは何の解決もできませんので、需要・ニーズに応じた供給を仕事の面でもそのほかの面でもしていくことも一つの考えであると思います。

(6)アメリカはオバマ大統領のもとで0（ゼロ）からやり直す・考え直すとしていますので、日本も考え直すとういと思います。円高で大変な状況ですが、この円高を吹き飛ばすようなことをやっていただきたいと思います。

(7)ただ、栃木県の一番大事な産業は製造業です。自動車は自動車でもっと進化をして、輸出にも耐えられるような素晴らしいものを作ってください。その他、航空機産業や原子力など大切なものいろいろありますので、新しいものにもどんどん挑戦してこの難局を乗り切っていけば、素晴らしい県になると思います。

3. おわりに

皆様はどのようにお考えですか。